

18 世紀オスマン帝国におけるチュルドゥル州長官の動向と役割

——変革期における中央・地方関係の一例として——

文学研究科 哲学歴史学専攻

東洋史学専修 2021 年度

M19LA004 玄番稔利

目次

| | |
|--|--------------|
| 序章 | p. 1 |
| 第1節 問題の所在 | p. 1 |
| 第2節 18世紀までのオスマン帝国 | p. 2 |
| 第3節 18世紀オスマン帝国を巡る状況 | p. 3 |
| 第4節 チュルドウル州に関する先行研究 | p. 5 |
| 第5節 分析の対象 | p. 8 |
| 第6節 史料について | p. 9 |
| | |
| 第1章 サムツへ・アタベク国からチュルドウル州へ | p. 11 |
| 第1節 西南グルジア地域とサムツへ・アタベク国 (Samtskhe-Saatabago) の成立 | p. 11 |
| 第2節 16世紀オスマン帝国のコーカサス地方征服とチュルドウル州創設 | p. 12 |
| 第3節 17世紀のチュルドウル州 | p. 19 |
| 第4節 オスマン帝国によるチュルドウル州統治 | p. 21 |
| 小結 | p. 26 |
| | |
| 第2章 18世紀前半におけるチュルドウル州長官の役割 ——イスハーク・パシヤを例として—— | p. 29 |
| 第1節 イスハーク・パシヤの経歴 | p. 29 |
| 第2節 州長官としてのイスハーク・パシヤの動向 | p. 31 |
| 第3節 イスハーク・パシヤが担った役割 | p. 35 |
| 第4節 イスハーク・パシヤの晩年期における行動 | p. 41 |
| 小結 | p. 43 |
| | |
| 第3章 18世紀後半におけるチュルドウル州長官の役割 ——スレイマン・パシヤを例として—— | p. 46 |
| 第1節 18世紀後半の歴代チュルドウル州長官 | p. 46 |
| 第2節 スレイマン・パシヤの経歴 | p. 47 |
| 第3節 スレイマン・パシヤが担った役割① | p. 49 |
| 第4節 スレイマン・パシヤが担った役割② | p. 57 |
| 小結 | p. 65 |
| | |
| 結論 | p. 68 |